

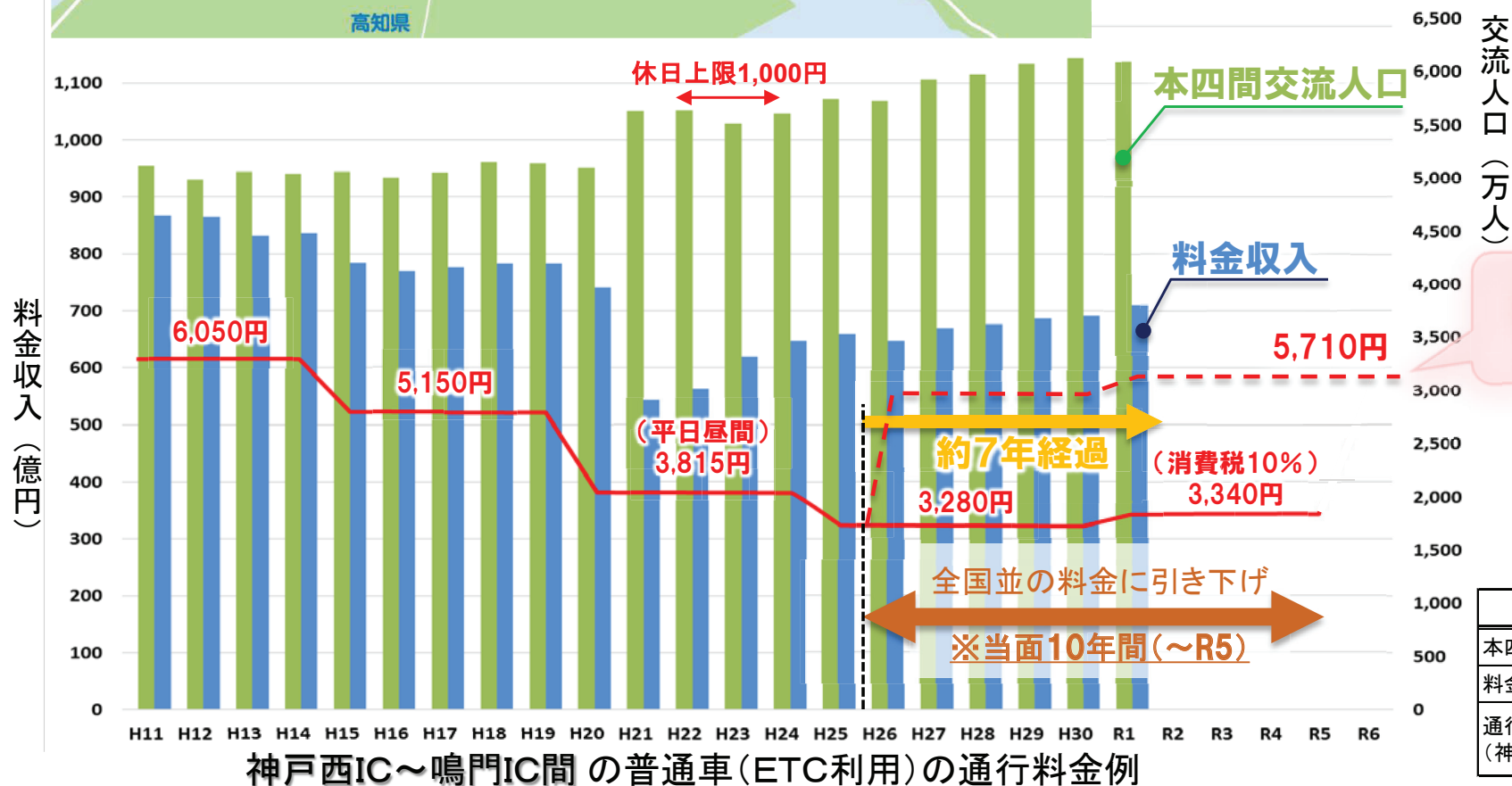
資 料 1

～ 環瀬戸内海地域における交流状況について ～

- | | |
|------------------|----|
| 1 全国共通料金の導入 | P1 |
| 2 本州四国間交流人口の達成状況 | P2 |
| 3 本州四国間交通量の状況 | P4 |

本四高速の料金について

- 本四の料金は、H26.4に全国共通料金となった。
- これは当面10年間(～R5)の措置である。

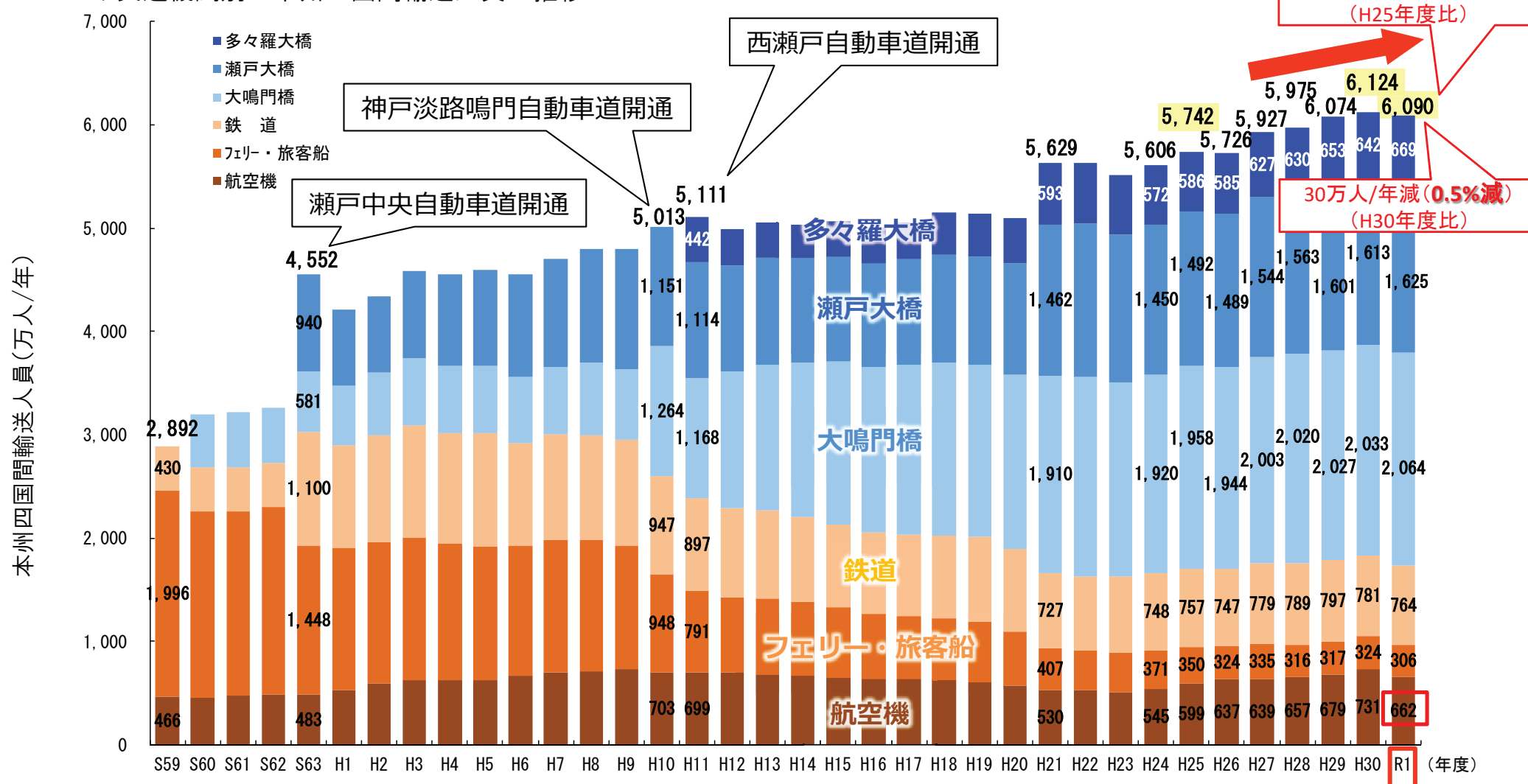


凡例	
本四間交流人口	
料金収入	
通行料金 (神戸西IC～鳴門IC間)	

本州四国間の交流(人の交流)

○R元年度の交流人口は6,090万人／年であり、H30年度に対して約30万人（約0.5%）減少。
○H25年度（協議会目標の基準年）に対して348万人（約6.1%）増加。

◆交通機関別の本州四国間輸送人員の推移



出典) 本州四国連絡高速道路(株)資料、四国運輸局「業務要覧」より作成

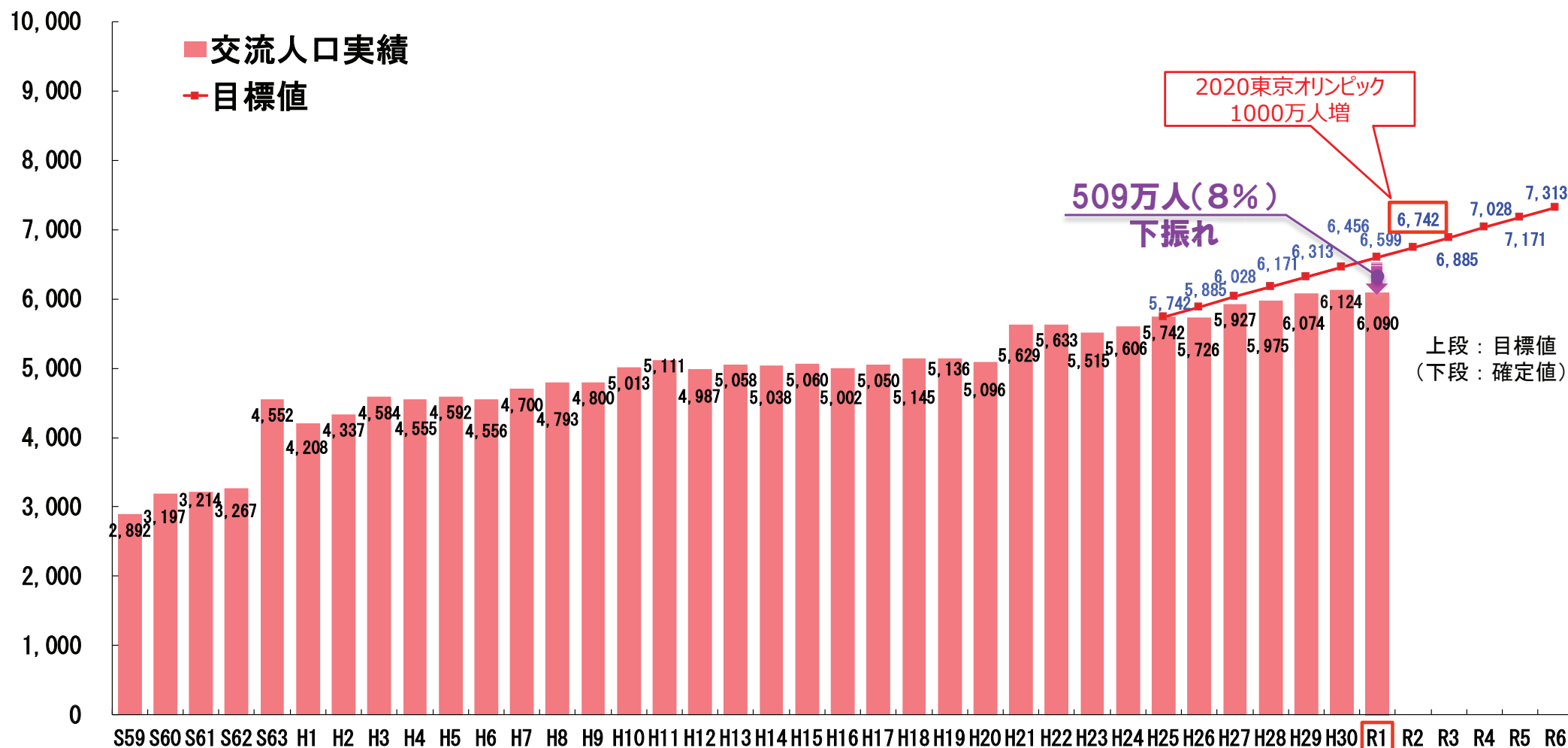
注1: 瀬戸大橋開通(1988年4月)以前の鉄道の輸送人員は、宇高連絡船の利用客開通後は、JR瀬戸大橋線の輸送人員

注2: 瀬戸大橋、大鳴門橋、多々羅大橋はそれぞれ県境に架かる橋

注3: R1年度の航空機交流人口は推計値

○本協議会で設定した目標達成状況は、令和元年度では509万人実績が少なく開きが見えてきている。

◆交流人口の実績の推移



出典) 本州四国連絡高速道路(株)資料、四国運輸局「業務要覧」より作成

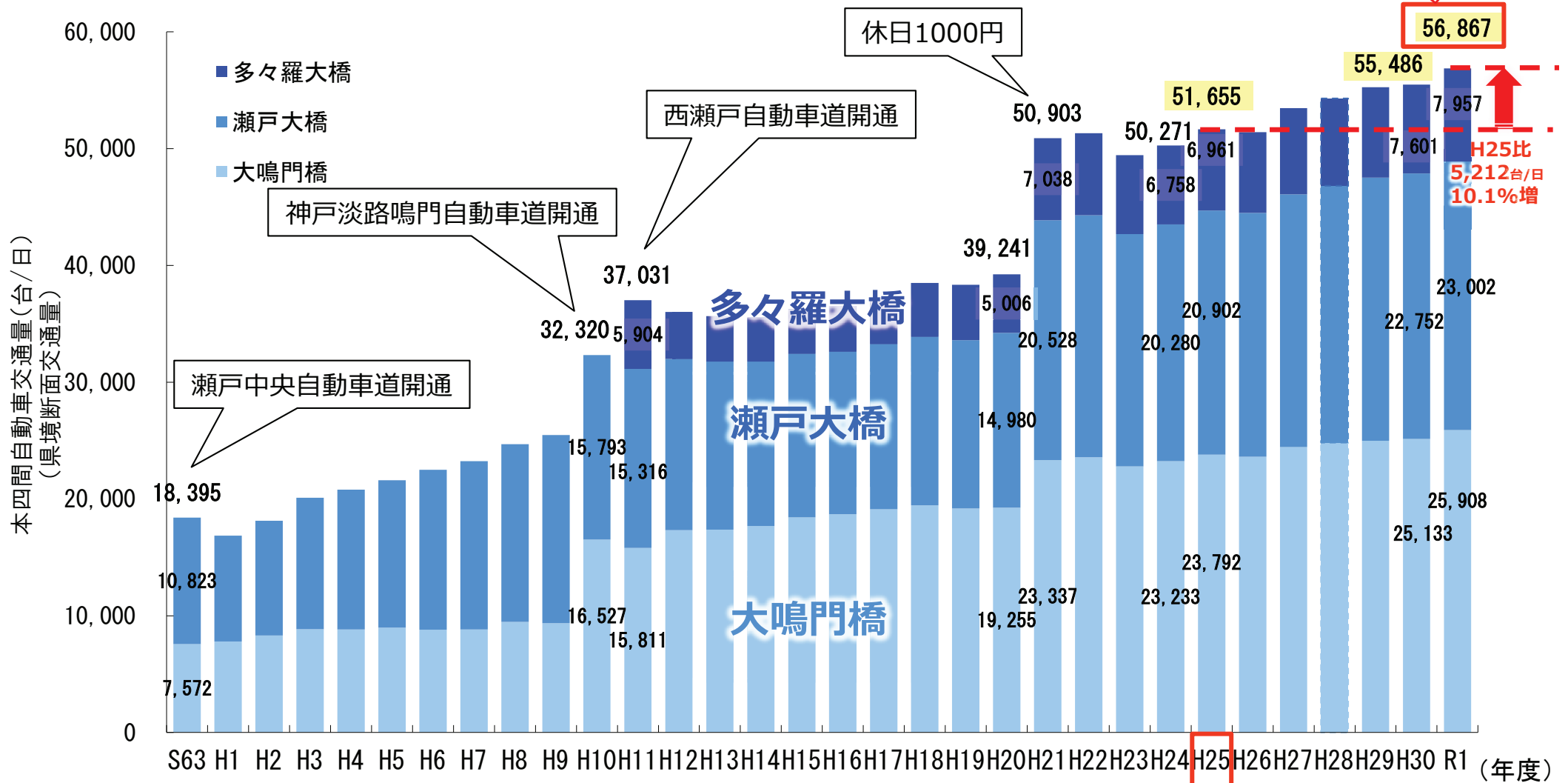
注1: 瀬戸大橋開通(1988年4月)以前の鉄道の輸送人員は、宇高連絡船の利用客
開通後は、JR瀬戸大橋線の輸送人員

注2: 瀬戸大橋、大鳴門橋、多々羅大橋はそれぞれ県境に架かる橋

交通量の状況（本四間自動車交通量(県境断面交通量)）

○R1年度の本四間自動車交通量(3橋)は56,867台/日であり、H30年度に対して1,381台/日（約2.5%）増加。
○H25年度（協議会目標の基準年）に対して5,212台/日（約10.1%）増加。

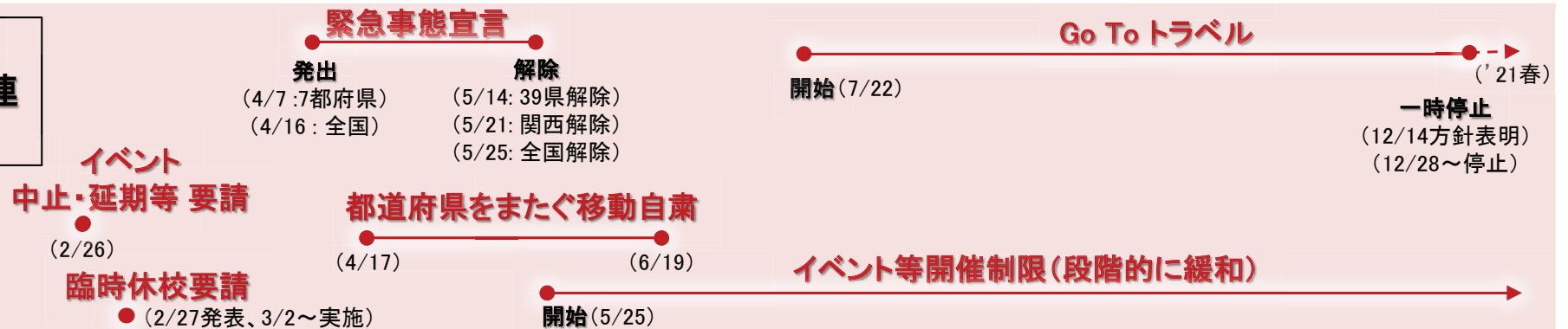
◆本州四国間の自動車交通量の推移



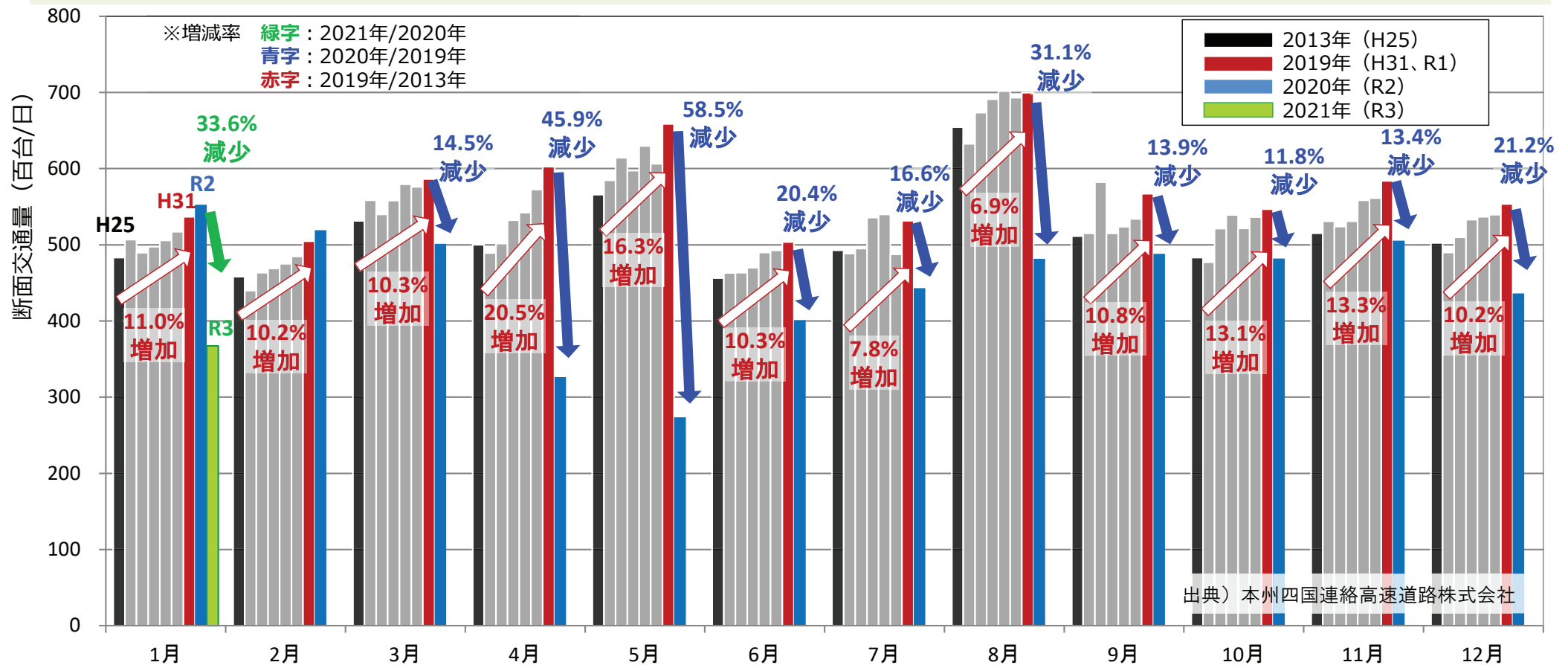
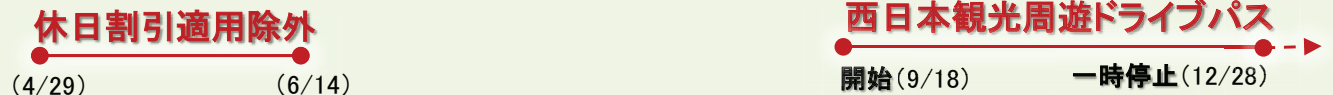
出典）本州四国連絡高速道路(株)

2020年1月～2021年1月の交通量（県境3橋合計）

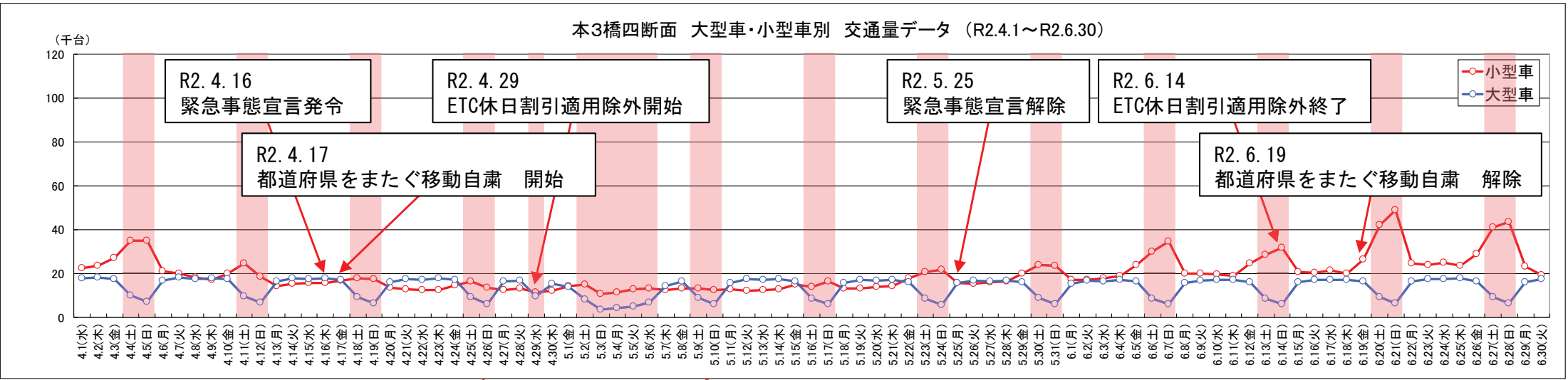
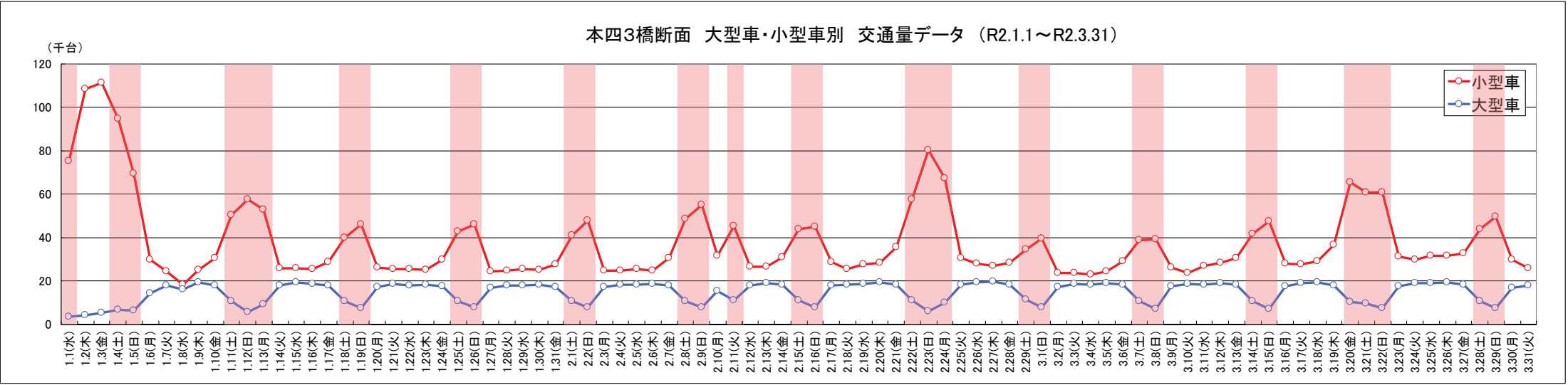
新型コロナ ウイルス関連 出来事



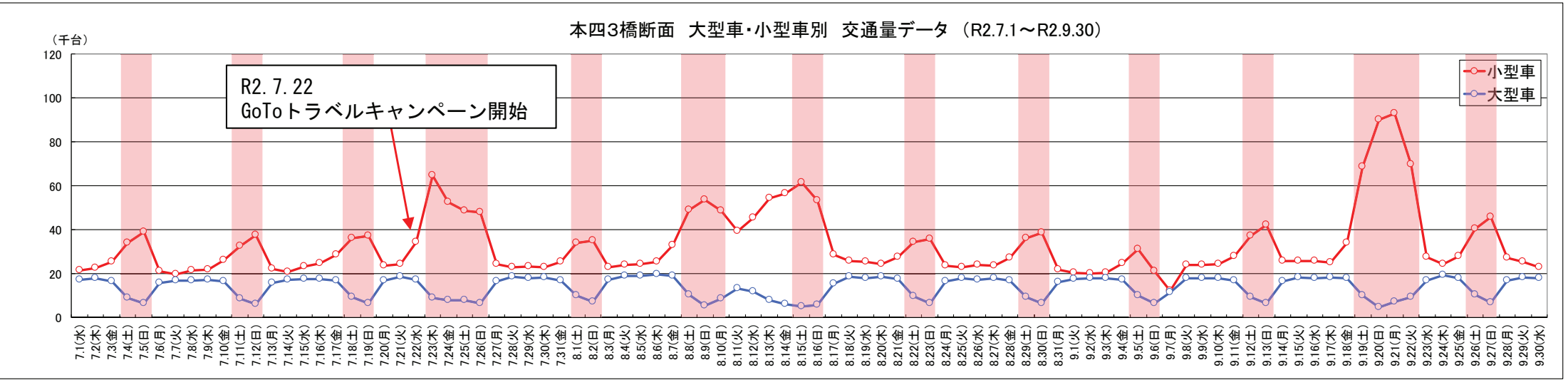
高速道路 関係



大型車・小型車別 交通量データ（県境3橋合計）【2020年1月～6月】

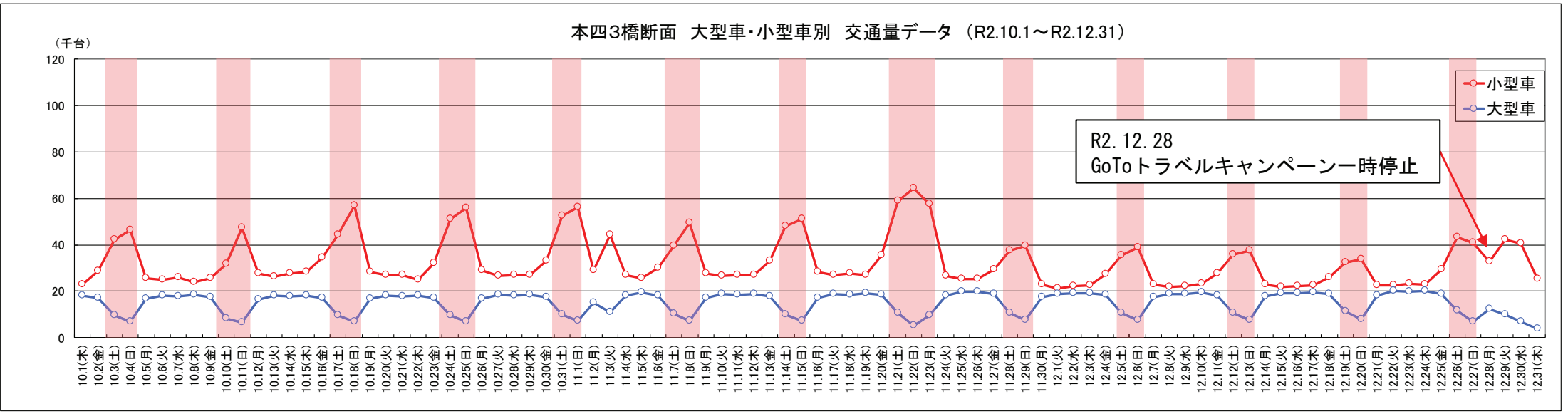


大型車・小型車別 交通量データ（県境3橋合計）【2020年7月～12月】



R2. 7. 22

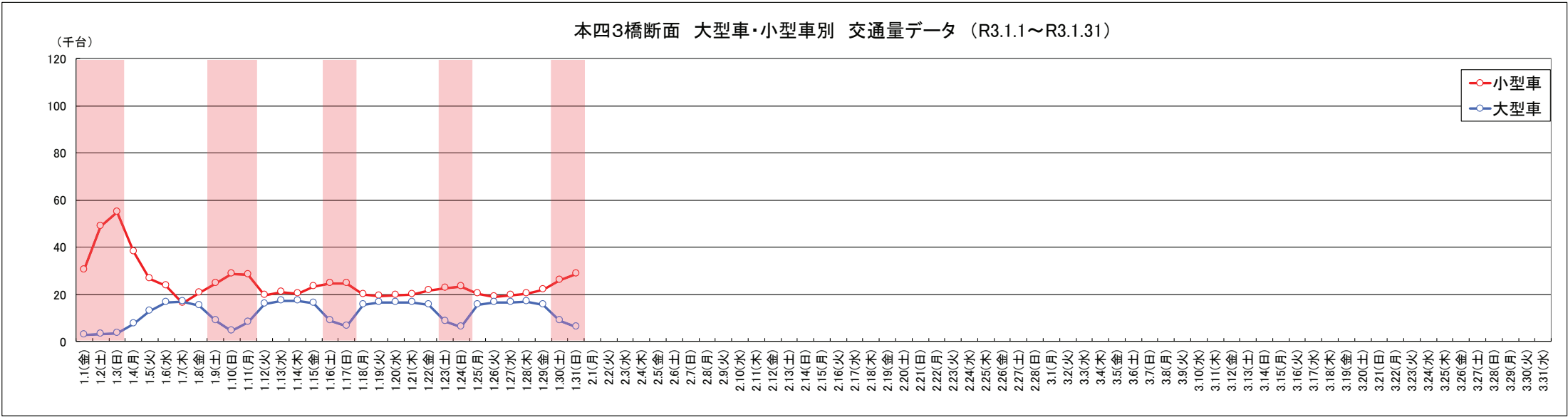
GoToトラベルキャンペーン期間



GoToトラベルキャンペーン期間

R2. 12. 28

大型車・小型車別 交通量データ（県境3橋合計）【2021年1月】



GoToトラベルキャンペーン 一時停止期間